

より大寺通正

令和四年年末号

歳神さま

今年ももう終わり、もうすぐ新しい一年が始まります。

一年のはじまりはお正月。そのお正月の諸行事・かざりものは新たに家家に歳神さまをお迎えするものです。ではその歳神さまとはいったいどんな神さまなのでしょうか。

古事記ではスサノオと神大市比比売の子供の「大歳神」であるとされています。この神さまは穀物神つまり農業の繁栄・食物の安定をつかさどる神です。また平安時代の陰陽道では京都祇園神社の神、牛頭天王の妻ハリサイ女とその子の八王子ともいわれています。しかし実は私たちがお迎えしている歳神は実はそれぞれの家の祖霊神つまり古いご先祖さまなのだと考えられています。つまりお正月もお盆と同じく帰ってこられるご先祖さまをお迎えする行事であるといえます。五十年の法事を終えた祖霊を神としてお迎えしているので。そのためのお飾り・門松・鏡餅なのです。一年に一度のこと。忙しいといわず、丁寧に用意したいものです。

紹介 正通寺の仏

観世音菩薩



令和五年の法事

一周忌	令和四年
三回忌	令和三年
七回忌	平成二十九年
十三回忌	平成二十三年
十七回忌	平成十九年
二十五回忌	平成十一年
三十三回忌	平成三年
五十回忌	昭和五十年

弘法大師のまします大師堂にお祀りしています。損傷が激しかったのですがこのたび京都の大佛師坪田最有先生にお願いして修理していただきました。般若心経の主役である観世音菩薩・観音さまは我々の声を聞いてくださって救いの手をさしのべてくださいます菩薩です。